

一生を24時間に置き換える ～3学期始業式 学校長式辞から～

3学期が始まりました。3学期は、1年間で最も短い学期です。

3年生が学校に来るのは、今日も入れてあと9日です。卒業に向けて高校生活最後の仕上げをする時です。挨拶や言葉遣い、学校生活の様子を見ていると社会に出しても大丈夫だと思えるほどしっかりしてきました。下級生にさすが3年生と言われるようなうしろ姿を見せて卒業して行ってほしいと思います。

2年生にとっては、この3学期は2年の3学期というより3年のゼロ学期であると言われる。2年生は今日から修学旅行に出発していますが、この3学期を3年生への助走期間にして、4月からそれぞれの進路に向けてより高くジャンプしてほしいと思います。

1年生は、去年の今頃どんなことを考えていましたか。中学校の先生や家の人と進路について相談し、高校受験に向けてがんばっていたことと思います。「初心忘るべからず」と言いますが、もう一度その頃の気持ちを思い出して、4月から2年生として新たな気持ちで高校生活をスタートさせるための3学期にしましょう。

さて、新年を迎えみんな一つ年を取るわけですが、人の一生を1日の24時間に置き換えて考えてみると、おもしろい発見があります。

どういうことかということ、人が生まれた時、つまりゼロ歳を午前0時とします。そして日本人の平均寿命である80歳を夜中の12時として、人の一生を24時間で換算します。そう考えると、みなさんの年齢は何時ごろになるかわかりますか？

0歳を1日が始まる午前0時、80歳を1日が終わる夜中の12時として考えると、ちょうど真ん中の40歳が昼の12時です。じゃあ、20歳は何時になると思いますか？

朝の6時です。20歳でもまだ朝の6時でしかないのです。16歳は朝の4時48分、17歳は朝の5時6分、18歳は朝の5時24分です。つまり、まだ人生の夜明け前なのです。まだ寝ている時間ですね。みんなの才能はまだ眠っているのです。みなさんの1日はまだ夜明け前でこれから始まります。いろいろな自分の可能性に目覚めて起きだすのはこれからです。だからこそ、今さまざまな事に興味を持ち、想像力を養うことで視野が広がり、可能性が広がります。

長い一生の中で、まだ夜明け前の時間帯の中にいる高校生のみなさんは、これから何でもできます。時間は十分にあります。旺盛な好奇心で、いろいろなことに挑戦し、自分の可能性を伸ばしましょう。「成功の反対は、失敗ではなく何もしないこと」です。

ちなみに、私はもうすぐ60歳ですから、私の年齢は夕方6時です。まだまだこれからゴールデンタイムが始まります。眠ってしまうにはまだまだ早い時間だと思っています。

2022年、令和4年が充実したすばらしい一年になることを祈っています。

(校長 高橋信之)